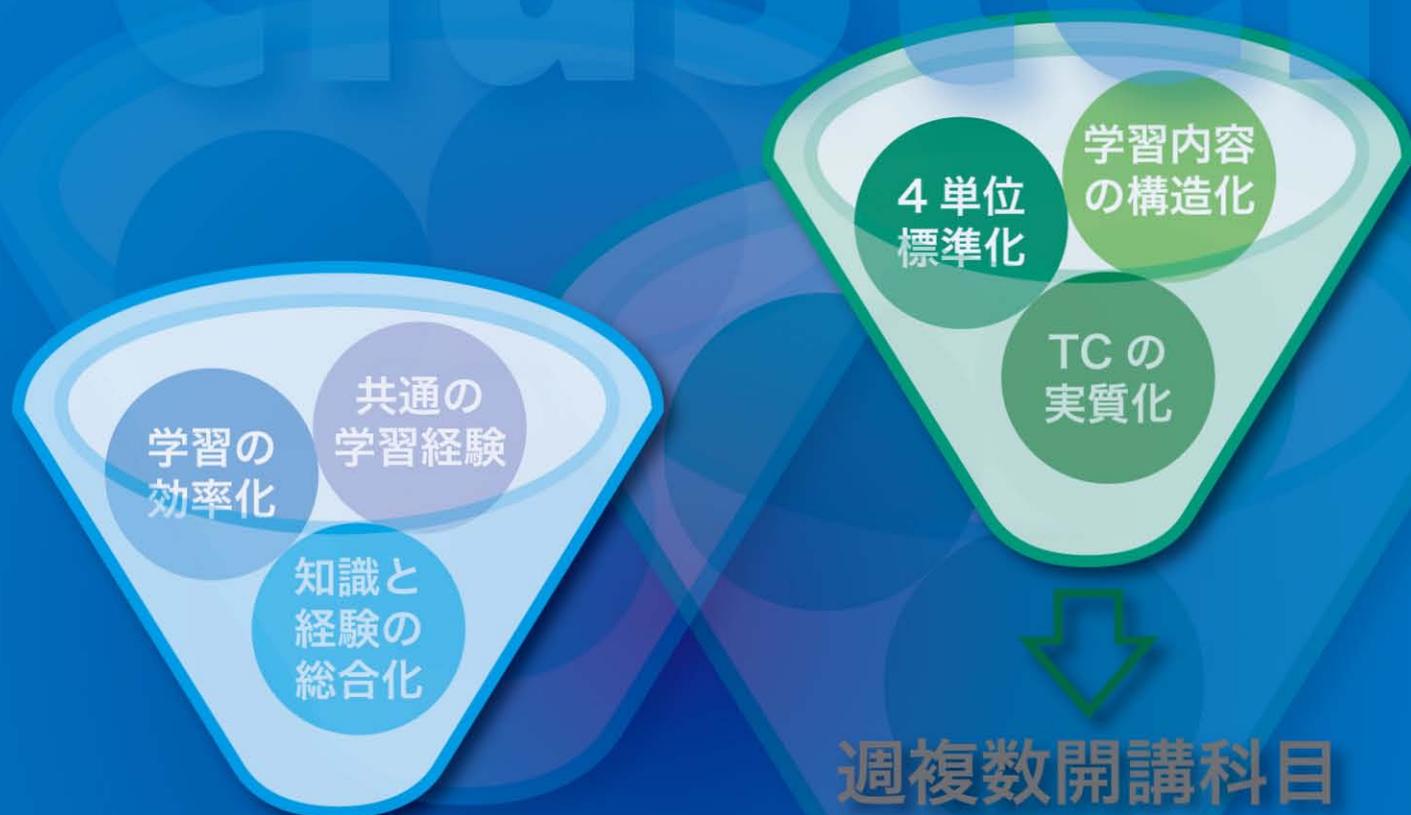


平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム

科目のクラスター化によるカリキュラム改革

副題／ラーニングコミュニティの実質化による知識と経験の総合化支援



関西国際大学

「クラスター化」とは同学期に開講される科目間で協同・連携して学生が履修する（「LC」ラーニングコミュニティという）、教員が協同・連携して取り上げる話題・教材などの共有を行いつつ運営する（「TC」ティーチングコミュニティ）というもので、学生が科目間のつながりを意識して学習し、構造化・体系化した学習と十分な教室外学習時間による単位に実質化をはかるとうとする試みです。また、「関連づけ、結びつき」を強化して履修行動を取ることで、新たな概念の集積を築こうとするものです。

関西国際大学

Kansai University of International Studies

教育学部

教育福祉学科／英語教育学科

人間科学部

人間心理学科／ビジネス行動学科

大学院

人間行動学研究所

<http://www.kuins.ac.jp/>

現状の課題分析

- ▶同時に履修する科目数が多い（小単位科目）
- ▶各科目でテーマが多岐にわたることによる**学習意欲の分散**（科目間の連携）
- ▶同時に履修している科目の**共通点、関連性、相互関係などの把握が困難**
- ▶学習の密度の希薄化
- ▶教室外学習時間が不十分となる傾向

改革の方向性

学生の学習動機の高揚

単位の実質化

科目のクラスター化による
教育課程の体系化・構造化+教育方法の改善

cluster

科目のクラスター化

同学期に開講される複数の科目を、学生は同時に履修し、LC を形成する。また、クラスター化された複数の科目担当者は、TC を形成し、授業で取り上げる話題や教材などを共有しながら運営する。

KUIS 学習ベンチマーク

卒業時に身につけるべき 15 の学習到達目標

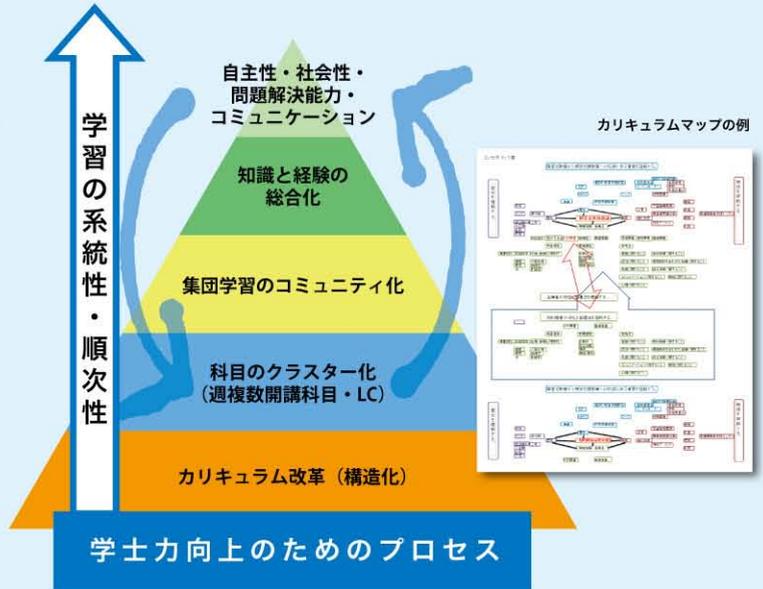


科目のクラスター化によるカリキュラム改革

副題／ラーニングコミュニティの実質化による知識と経験の総合化支援

ラーニングコミュニティ (LC) の実質化と知識・経験の総合化

学生は、LC での学習活動を通して、同時に履修する複数科目間のつながりを意識して学習し、構造化・体系化した学習と十分な教室外学習時間を確保でき、「関連づけ、結びつき」を強化した履修行動にいざなうことで、新たな概念の集積を築くことが期待できる。



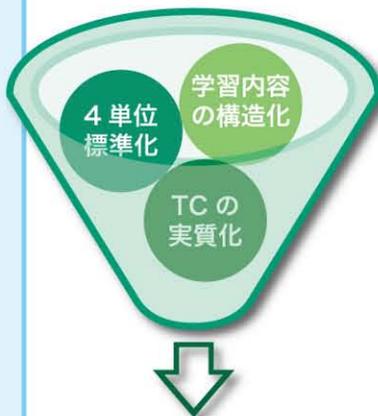
ティーチングコミュニティ (TC) による協働とカリキュラム改革

同学年・同学期の科目担当者どうしであっても、従来は、それぞれの科目の学習目標や教育内容、スケジュールなど教育課程の遂行についての情報共有や共通理解が充分とはいえず、また、それぞれの科目では独自に教育目標の達成に取り組んでいたとしても、学生にとっては、「関連づけ、結びつき」を十分に把握することが難しかった。

しかし、TC での教育活動を通して、各科目担当者間で、同学年・同学期に学生が履修している科目にかんする教育課程の情報共有や共通理解を促進されることで、学生に科目間の「関連づけ、結びつき」を意識させた教育を充実させることができる。

さらに、TC による情報共有や共通理解は、科目間での教育内容の重複を回避し、「カリキュラムマップ」などの作成といった系統性・順次性のあるカリキュラムの構造化に向けた教学改革を加速させることが期待できる。

クラスター I (週複数開講科目型) の導入



週 1 回開講の 2 単位科目を多数履修するような在り方を見直し

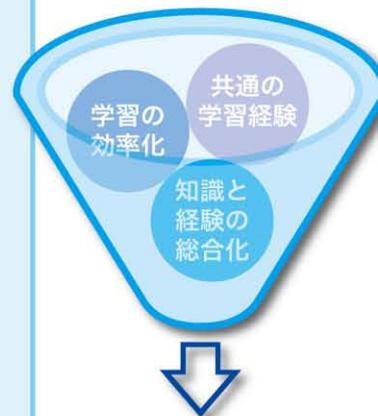
●教育効果の観点から 2 コマ続きの授業や週複数回開講する授業を標準形態

●科目間の連携の深化と学生の学習内容の構造化と体系化

●KUIS 学習ベンチマークの達成と専門基礎知識の達成目標の明確化

学習の系統性・順次性ある教育課程の再構築

クラスター II (LC 型) の導入



目的養成課程の学科など、クラスター I の導入が困難な場合
●LC の形成と TC の積極的運用を通じた学習体制づくりと学習の効率化

●共通の学習経験を共有する仲間づくりを通じた学習意欲と対人関係能力の向上

●科目の目標や内容、スケジュールについての調整や連動 (授業で取り上げる話題や教材、レポート課題など)

学期を通じてコンスタントな教室外学習の実現

事例 1 「教育福祉学科の場合」

「専門演習Ⅲ」「知的障害者の心理」「サービスラーニングⅠ」「キャリアプランニング」がクラスター化

こども学専攻では、「専門演習Ⅲ」「知的障害者の心理」をクラスター化し、学習意欲の向上と専門基礎知識を通じた問題発見・問題解決能力の涵養に効果をあげている。また、福祉学専攻では、「教育サービスラーニングⅠ」「キャリアプランニング」「福祉基礎」の科目担当者を重複させることで、TC 形成を強化し、綿密なコンセプトを持った科目展開を実施。評価基準や授業内容を統一することで、重複した宿題などの課題を減らし、余裕の出た学習時間を他の学習に振り向けられるような工夫を行っている。

クラスター化 (II 型) のイメージ図 (こども学専攻)

小集団 (ゼミ) と座学とのクラスター化で LC の実質化



クラスター化 (II 型) のイメージ図 (福祉学専攻)

科目担当者の重複による TC 形成



事例 2 「英語教育学科の場合」

コーディネータの指導のもと科目担当者間の情報交換も行われ、ゆるやかにクラスターを形成

習熟度別科目では、コーディネータ教員の指導のもとに TC を形成し、科目担当者間の情報共有を実施。学科共通科目の履修によって、学生は異なる習熟度の学生とも交流、情報交換が行っている。1 回生だけでなく、教員、上級生を含めた LC の形成に力を注いでいる。

クラスター化 (II 型) のイメージ図

英語習熟度別科目と学科共通科目の連携で LC の実質化



問題発見・解決のためのインタラクティブデスクの開発と実用化

インタラクティブデスクは、通常のコンピュータ画面のほかに、ホワイトボードモードとタッチペンモードを有している。ホワイトボードモードでは、ディスプレイ面にボードマーカーで直接書いたり、その内容を USB カメラで撮影、取り込みすることが可能。また、タッチペンモードでは、ディスプレイ面を指などでなぞることで書き込みが可能である。問題発見・問題解決能力を涵養するグループワークに威力を発揮している。

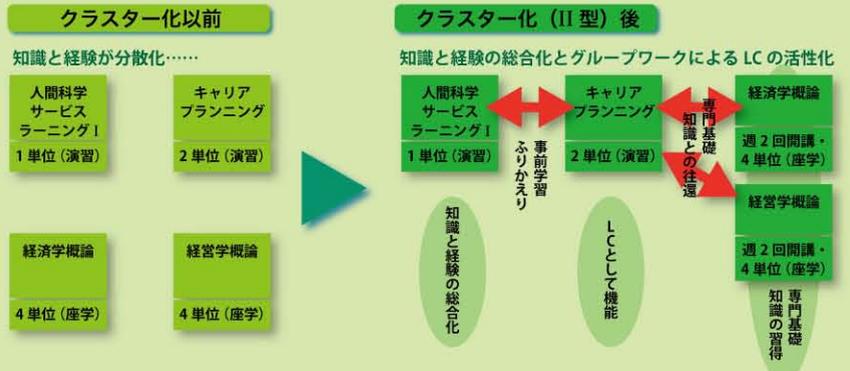


平成 21 年度「大学教育・学生支援推進事業」大学教育推進プログラム
科目のクラスター化によるカリキュラム改革
 副題／ラーニングコミュニティの実質化による知識と経験の総合化支援

事例 3 「ビジネス行動学科の場合」

「サービスラーニング I」「キャリアプランニング」「経済学概論」「経営学概論」がクラスター化

「人間科学サービスラーニング I」に必要なエッセンスを、同学年・同学期開講する「経済学概論」や「経営学概論」で、連携をイメージしながら専門知を講義。1年生のうちから専門教育として学ぶビジネスやマネジメント領域への興味を抱かせ、その基礎知識と考え方を身につけ、良き市民として人間力を養い、自律できる人間としての成長を目指す学びを展開。



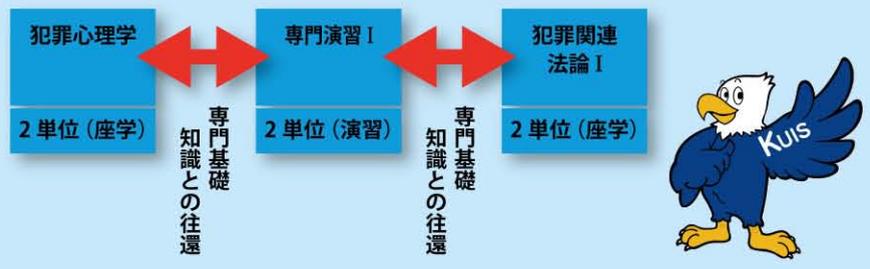
事例 4 「人間心理学科の場合」

「犯罪心理学」「犯罪関連法論 I」の専門基礎知識を活かした地域貢献活動の展開

人間心理学科犯罪科学専攻では、「犯罪心理学」「犯罪関連法論 I」「専門演習 I」をクラスター化し、各講義科目 (座学) で得た専門基礎知識をいかして、各「専門演習 I」(2 年生ゼミ) で地域への貢献を目的としたグループワークを実施。地域の「高齢者大学」の学生と「笑い」を用いた防犯グッズの開発や、デイケアセンターでの悪徳訪問販売防犯の啓発寸劇の実施などに取り組み、地域の高齢者からも、これまでにない学生の発想が評価され、学生の学習意欲の向上につながったと考えられる。

クラスター化 (II型) のイメージ図

専門基礎知識をいかした地域への貢献を目的としたグループワークの展開



お問い合わせ



関西国際大学



尼崎キャンパス 〒661-0976 尼崎市潮江 1-3-23 電話 06-6498-4755 (代表)

三木キャンパス 〒673-0521 三木市志染町青山 1-18 電話 0794-85-2288 (代表)

担当メールアドレス gakuji@kuins.ac.jp ホームページ <http://www.kuins.ac.jp/>
